

令和8年2月26日

鳥取市教育委員会

教育長 河井 登志夫 様

鳥取市立学校南ブロック協議会

会長 松岡 一

要望書

平素より鳥取市の学校教育のため、格別のご支援・ご尽力をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、当南ブロックにおいても、近年の少子化の急激な進行により児童生徒数の減少や学級規模の変化が進み、学校運営や教育環境の維持において様々な課題が顕在化しております。

将来にわたり、子どもたちにとって望ましい教育環境を確保し、学びの質を高めるためには、地域の実情を踏まえつつ、学校再編の検討を計画的に進めることが必要であるとの認識のもと、鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、河原・用瀬・佐治地域からなる鳥取市立学校南ブロック協議会を設置しました。

本協議会では、河原中学校区、千代南中学校区の各小・中学校区の考える会の検討結果や要望書の内容をもとに、ブロック内の学校のあり方について協議・検討を行いましたので、今後の学校再編の推進のため、下記のとおり要望いたします。

記

1. 南ブロックでの学校再編については、河原中学校区・千代南中学校区それぞれで行うこと

(理由)

児童生徒数の観点から適正規模を考えると、南ブロック全体で学校再編を検討するということも必要であるが、広大な南ブロックで統合した場合、学校位置や通学方法の検討等、調整に時間が必要となることが懸念される。この度の学校再編検討においては、各中学校区で学校再編を行うべきと判断したため。

2. 河原中学校区・千代南中学校区それぞれで設置された会議体で協議・決定した内容に基づき学校再編を行うこと

(理由)

鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針では、ブロック別協議会で学校再編の組み合わせを決定することとしている。しかし、再編の組み合わせは、今後、学校の位置や通学方法、義務教育学校化の可否など、具体的な内容を中学校区全体で検討した上で判断する必要がある。南ブロックには複式学級が設置されている学校も複数あり、学校再編の議論を急ぐ状況にある。ブロック全体で議論していくのではなく、中学校区単位の会議体での検討結果をもとに、迅速に学校再編を進めるべきであるため。